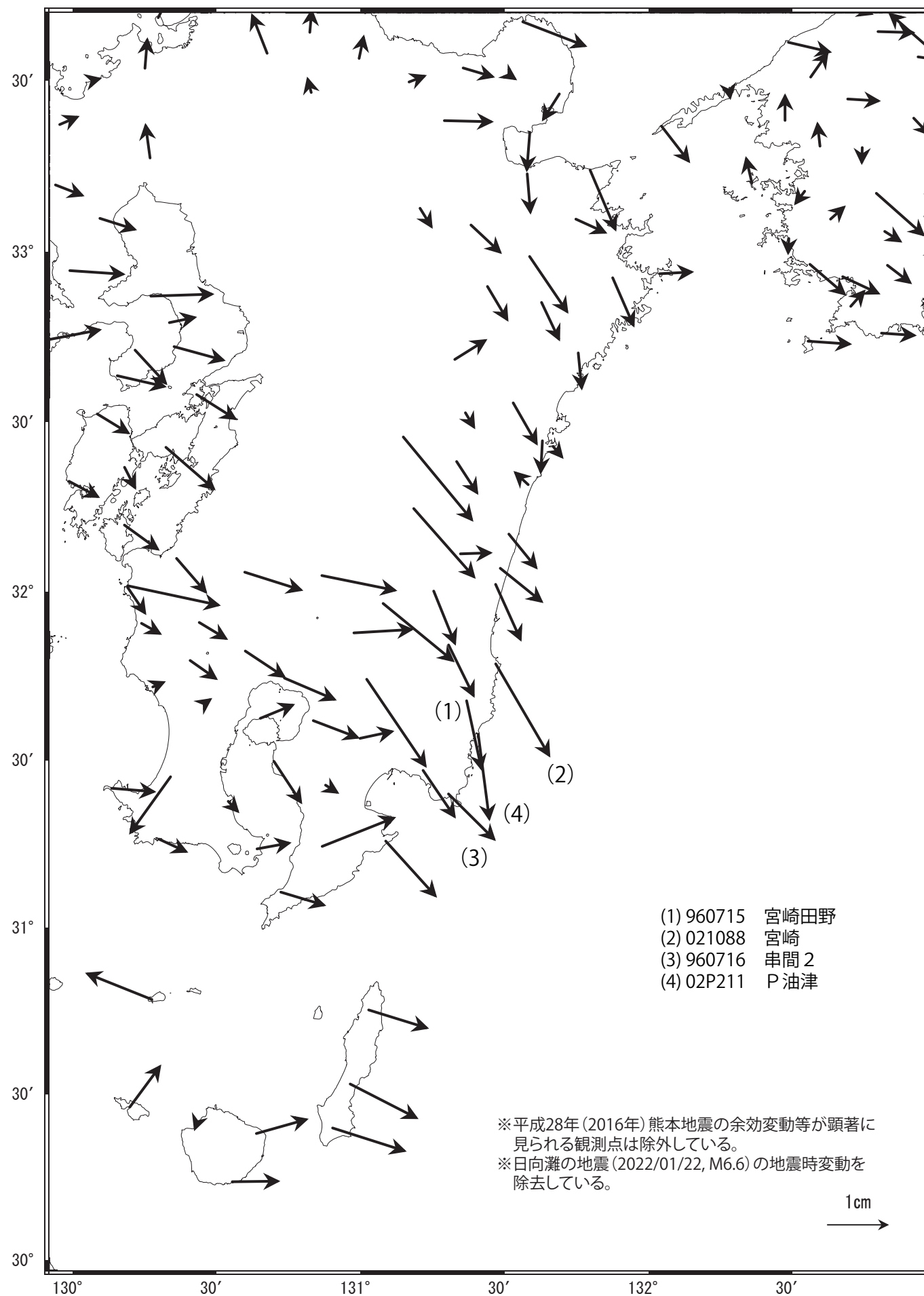


九州地域の非定常水平地殻変動(1次トレンド除去後)

基準期間: 2020/01/01~2020/01/07 [F5: 最終解]

比較期間: 2022/05/09~2022/05/15 [R5: 速報解]

計算期間: 2012/01/01~2013/03/01

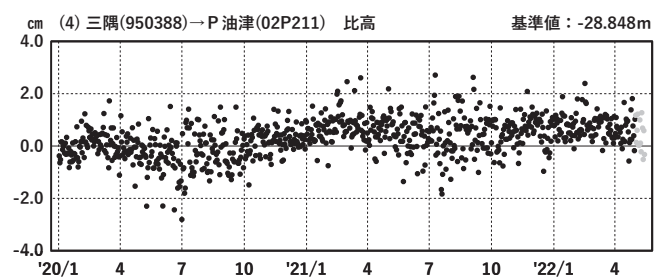
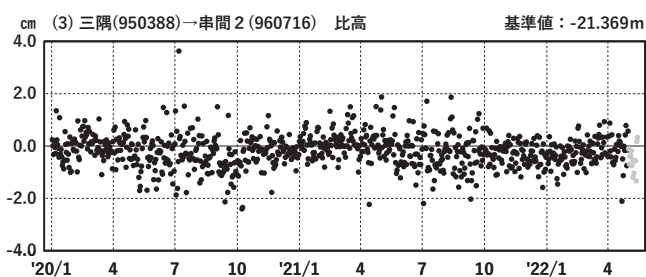
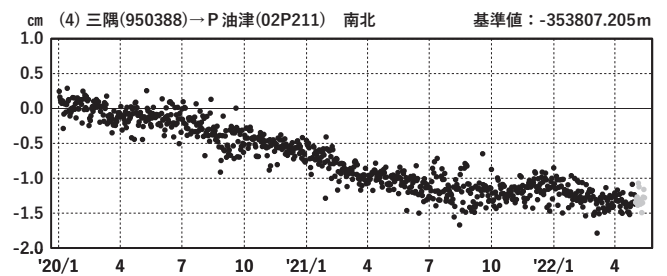
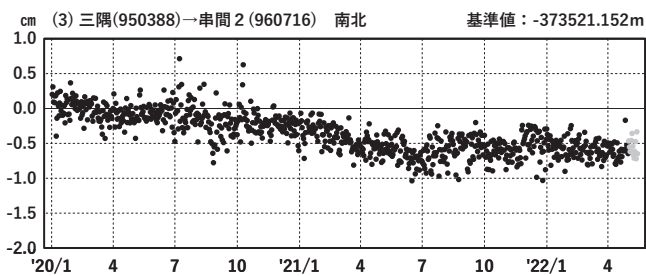
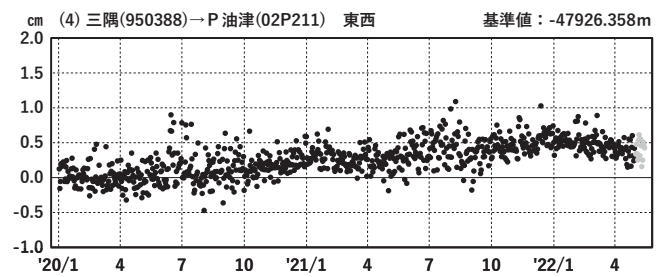
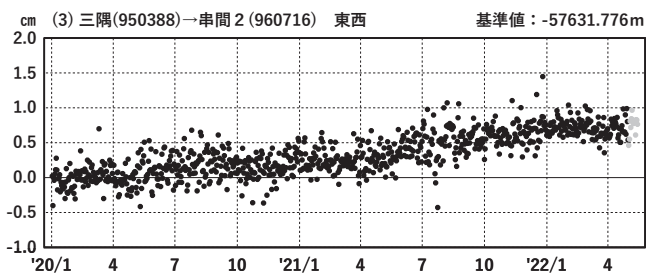
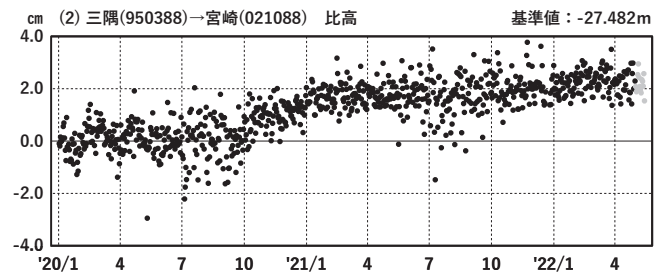
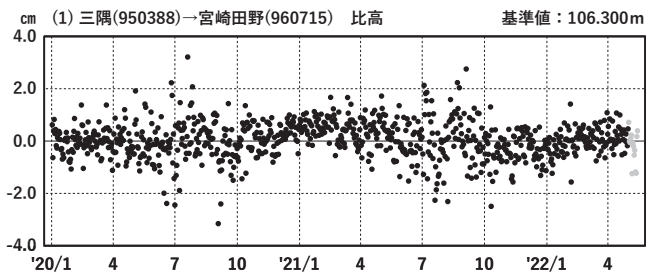
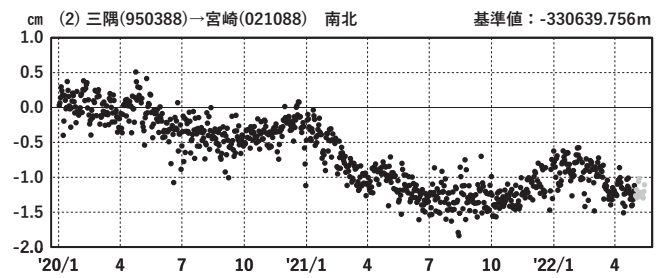
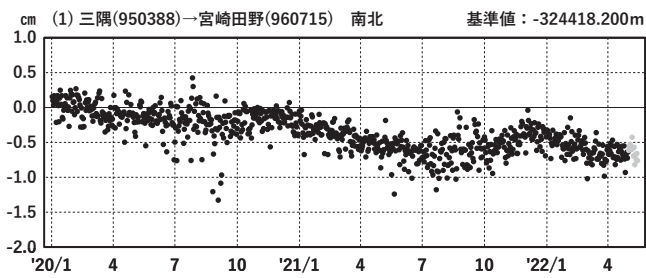
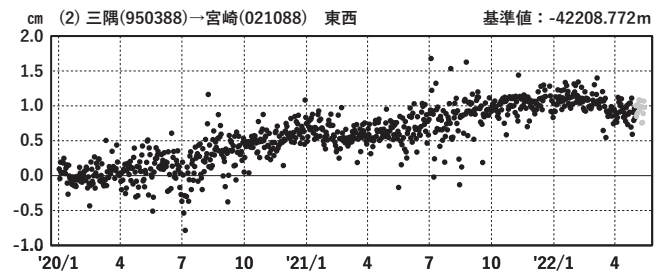
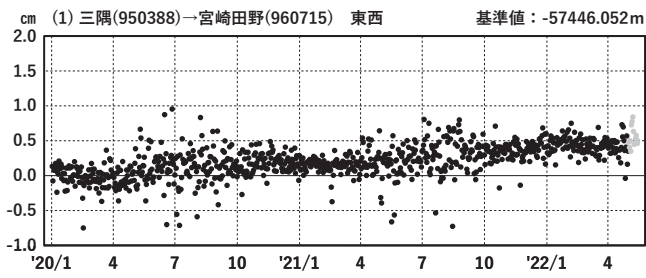


九州地域 G N S S 連続観測時系列

1次トレンド除去後グラフ

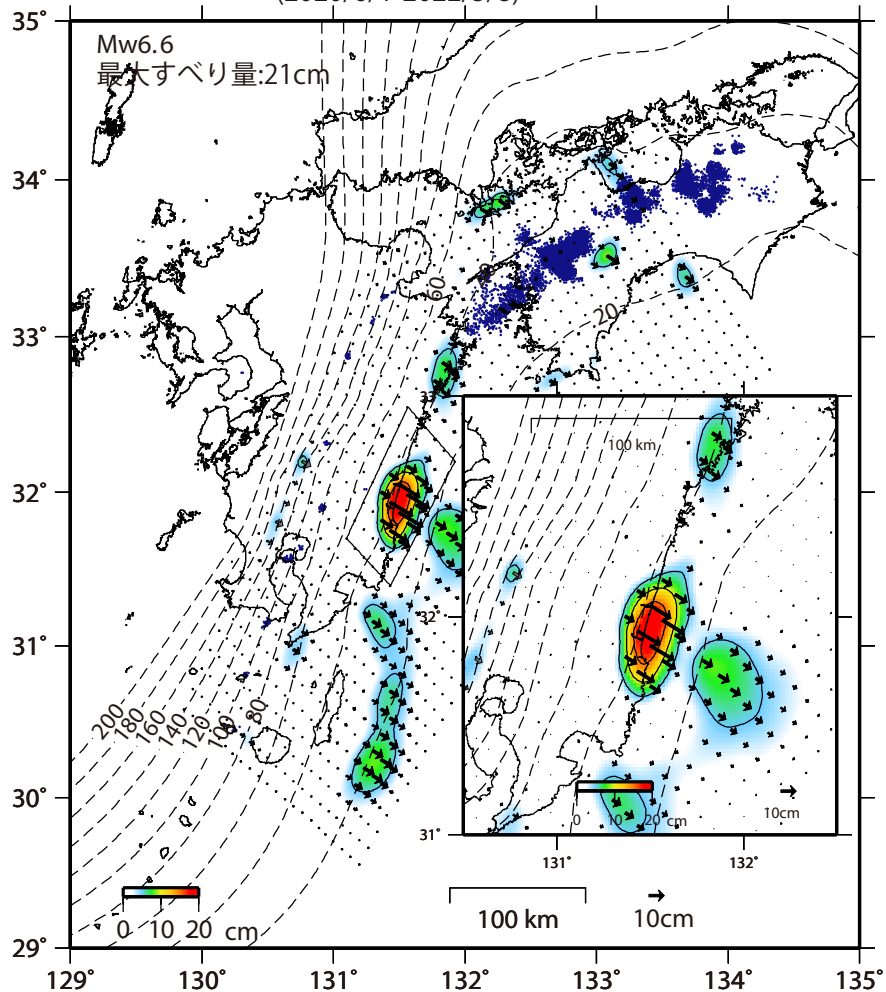
期間: 2020/01/01~2022/05/15 JST

計算期間: 2012/01/01~2013/03/01

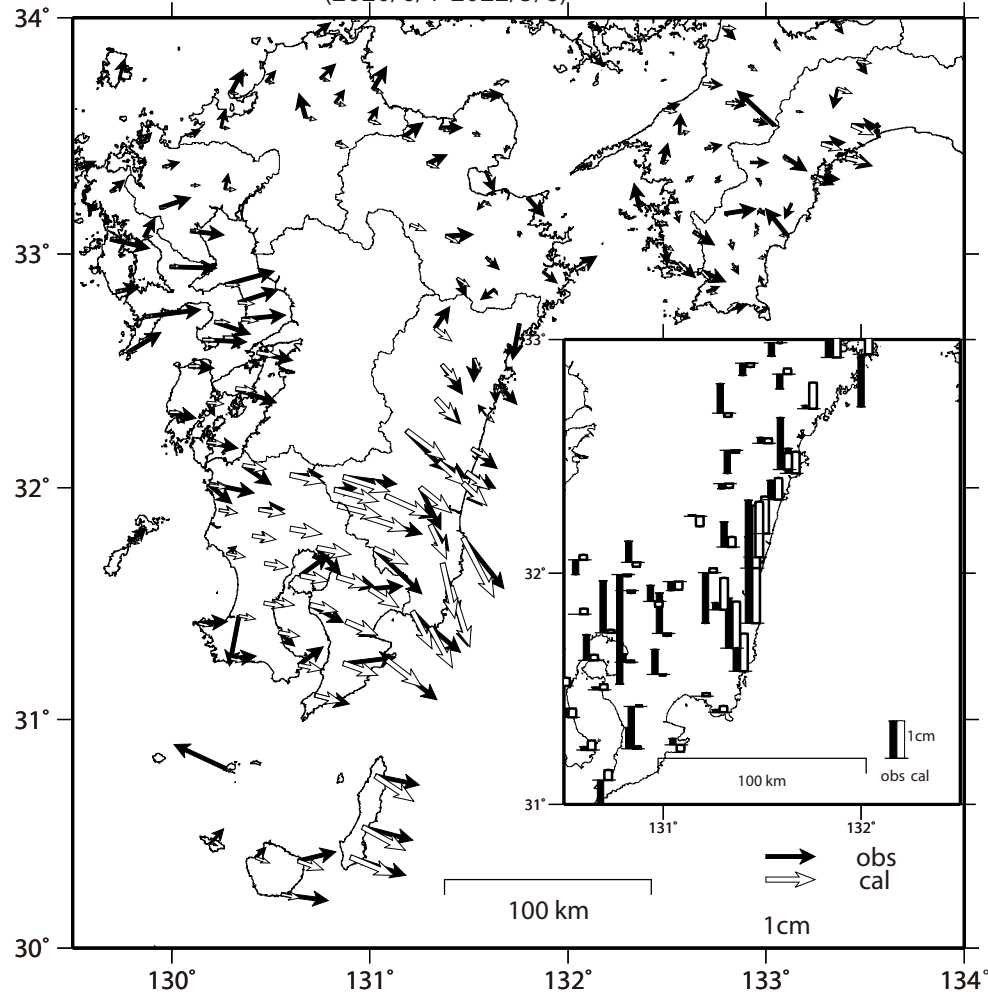


●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

推定すべり分布
(2020/6/1-2022/5/8)



観測値 (黒) と計算値 (白) の比較
(2020/6/1-2022/5/8)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ:GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2020/1/1- 2022/04/23) +R5解(2022/04/24-2022/5/8)

* 電子基準点の保守等による変動は補正済み

* 日向灘の地震(2022/01/22,M6.6)の地震時変動を除去している。

* 平成28年(2016年)熊本地震の余効変動が顕著に見られる観測点は除外している。

トレンド期間:2012/1/1-2013/3/1 (年周・半年周成分は補正なし)

モーメント計算範囲:左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al.,2008)

すべり方向:プレートの沈み込み方向に拘束

青丸:低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間:2020/6/1- 2022/5/8)

固定局:三隅